

再評価結果（平成20年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：下保 修

事業名	地域高規格道路 一般国道374号 <small>ゆのこうしょうおうどうろ</small> 湯郷勝央道路	事業区分	一般国道	事業主体	岡山県
起終点	自：美作市 位田 ～ 至：勝央町 黒土			延長	5.4 km
事業概要	一般国道374号は備前市を起点として、津山市に至る延長約56kmの幹線道路である。当区間は、地域高規格道路「美作岡山道路」の一部を構成するとともに、沿線の慢性的な交通混雑の解消及び交通の安全確保を目的とする道路である。				
H9年度事業化	H 年度都市計画決定 (H 年度変更)	H12年度用地着手	H12年度工事着手		
全体事業費	140億円	事業進捗率	67%	供用済延長	-km
計画交通量	10,700台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.1 (残事業) 3.5	総費用 (残事業)/(事業全体) 47/151億円 事業費：42/146億円 維持管理費：5.0/5.0億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 163/163億円 走行時間短縮便益：128/128億円 走行費用減少便益：16/16億円 交通事故減少便益：19/19億円	基準年	平成19年
感度分析の結果	残事業について、感度分析を実施 交通量変動：B/C=4.3(交通量+10%) B/C=2.6(交通量-10%) 事業費変動：B/C=3.2(事業費+10%) B/C=3.8(事業費-10%)				
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・円滑なモビリティの確保（年間渋滞損失時間の削減） ・国土・地域ネットワークの構築（美作市～津山市間のアクセス向上） 外6項目に該当 				
関係する地方公共団体等の意見	沿道市長の首長及び議会議長で構成する「美作岡山道路整備促進期成会」など複数の団体から要望を受けている。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	特になし。				
事業の進捗状況、残事業の内容等	用地取得は概ね完了している。平成19年度にトンネル、橋梁を発注し平成22年度の供用開始に向け鋭意工事を進めている。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	平成22年度の供用開始を目指している。				
施設の構造や工法の変更等	建設副産物の発生抑制や再生資源利用等により、今後ともコスト縮減に努めることとしている。				
対応方針					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考える。				
事業概要図					

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。